

ユーロ圏金融政策（2025年7月）

市場予想通り8会合振りに政策金利を据え置き

2025年7月25日

貿易交渉の行方を含め当面は様子見姿勢、利下げ局面は一旦終了

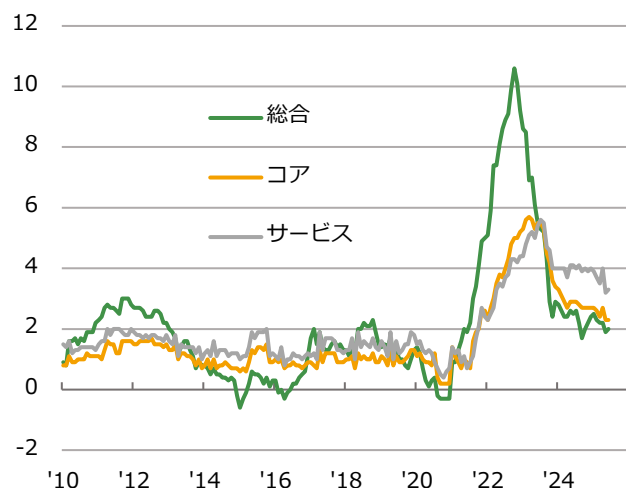
ECB（欧州中央銀行）は7月23・24日（現地）の理事会で、現在の主たる政策金利である中銀預金金利（銀行がECBに所要準備を超えて預け入れる資金の金利）を全会一致で市場予想通り2%に据え置きました。昨年6月に利下げを開始し、9月以降は前回まで7会合連続で利下げを実施していました。

声明文では、入手する情報は6月の理事会での経済見通しとおおむね整合的であること、賃金の伸びが一段と鈍化するとともに国内の物価上昇圧力が緩和し続けていること、これまでの利下げの効果もあり、世界的に難しい環境の中でも景気は底堅いことを指摘しています。同時に、特に貿易交渉に係る不確実性の高さを挙げ、これまで同様、金融政策はデータに基づき会合毎に決定するとの方針です。

ラガルドECB総裁は、インフレ率は現在2%でインフレ期待も安定しており、ECBは良い位置にあると述べ、貿易交渉の行方とそれが経済に及ぼす影響を今後数カ月のデータで見極めるとの様子見姿勢を示しました。米国のEUに対する相互関税率が15%で合意されるとの最近の報道も、その背景にあると考えられます。為替については、それ自体が目標ではなく、インフレ見通しにとって重要であるとの従来の見解を繰り返しました。中期的なインフレ目標の達成が見通せる限り、当面のインフレ率の多少の下振れには動じないと述べるなど、追加利下げには距離を置いている印象です。中銀預金金利は中立とされる2%に達しており、貿易交渉の合意を前提に、ECBによる今回の利下げ局面は一旦終了したと当社は想定します。

ユーロ圏の消費者物価指数

(前年同月比、%) (2010年1月～2025年6月)

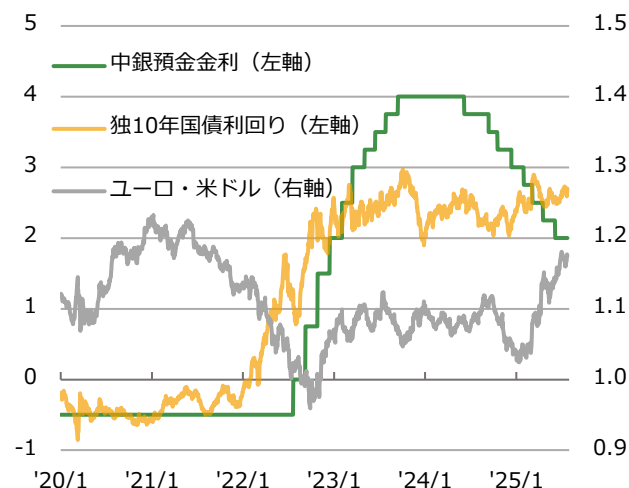


※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列

(出所) 欧州統計局

ユーロ圏の金利と為替

(%) (2020年1月初～2025年7月24日) (米ドル/ユーロ)



※中銀預金金利は発表日ベース

(出所) ブルームバーク

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management